

科目名	心理学基礎ゼミナール			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	高山 智行、海野 博、大石 英史、 小山 典子、榎本 俊哉、木元 卓也、 三島 瑞穂、脇 貴典、小野 洋平、須 藤 竜之介	関連する資格		

授業概要

新入生の大学での学生生活が充実するために行う少人数ゼミナールである。教員と学生の交流ならびに学生同士の交流の中で、学習や生活上に知識やスキルについて学ぶ。
本授業は対面授業を基本とする。

到達目標

- A1101
- 1) 大学での学び方を修得する。
 - 2) 自分にとってわかりやすいノートを作成することができる。
 - 3) 図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。
 - 4) 学術的文章を批判的に読むことができる。
 - 5) レポート作成の手順とルールを理解できる。
 - 6) わかりやすいレジュメを作成することができる。
 - 7) レジュメを使って発表することができる。

成績評価方法

課題およびレジュメ作成 50%
授業参加度（発言，質疑応答等）10%
プレゼンテーション 40%
で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							25
グループワーク							25
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 大学と大学生活（担当：各教員） 【予習】キャンパスガイドを読んでおく（30分） 【復習】大学で学ぶ意義を改めて考え、前期の達成目標を立てる（40分程度）	振り返しシート
2) アカデミックスキルズとは（担当：各教員） 【予習】教科書第1章を精読する（60分） 【復習】アカデミックスキルズに対する理解を深め、自己分析を行う（60分）	振り返しシート
3) ノートのとり方（1）（担当：各教員） 【予習】教科書第2章を精読する（60分） 【復習】自分にとって使いやすいノート作りを構想する（60分）	振り返しシート
4) ノートのとり方（2）（担当：各教員） 【予習】ノートをどう活用するかという観点からノート作りを再考する（60分） 【復習】授業でとったノートを見直し、工夫、改善を行う（60分）	グループディスカッション 振り返しシート
5) 情報収集（1）：情報の種類、特徴と利用法（担当：各教員） 【予習】教科書第3章（1～4節）を精読する（60分） 【復習】データベースを使って、興味を惹かれるテーマの文献を探す（60分）	データベースを使って、文献検索を行う 振り返しシート
6) 情報収集（2）：図書館とデータベースの使い方（担当：各教員） 【予習】教科書第3章（5～6節）を精読する（60分） 【復習】興味を惹かれるテーマに関する文献を探し、リストを作成する（60分）	データベースを使って、文献検索を行う 振り返しシート
7) クリティカル・シンキング（1）：クリティカル・リーディングを理解する 【予習】教科書第4章を精読する（60分）（担当：各教員） 【復習】授業で提示された課題を行う（60分）	振り返しシート
8) クリティカル・シンキング（2）：クリティカル・リーディングを練習する 【予習】新聞記事を批判的に読む（60分）（担当：各教員） 【復習】授業で提示された課題を行う（60分）	グループディスカッション 振り返しシート
9) レポートの書き方（1）（各教員） 【予習】教科書第5章を読み、スキミングする（60分） 【復習】情報整理の重要性について理解を深める（60分）	振り返しシート
10) レポートの書き方（2）（各教員） 【予習】教科書第8章を精読し、第6章との関連を考える（60分） 【復習】レポート作成の手順、構成、引用のしかたについて理解を深める（60分）	振り返しシート
11) レジュームの作り方（各教員） 【予習】レジュームとはなにかを調べる（60分） 【復習】どのようなレジュームがわかりやすいかについて、理解を深める（60分）	情報収集 振り返しシート
12) レジュームを作成する（各教員） 【予習】レジューム作成に必要な文献を揃え、精読する（60分） 【予習】作成中のレジュームを見直し、必要に応じて加筆・修正する（60分）	レジューム作成 振り返しシート
13) プレゼンテーションのやり方（各教員） 【予習】教科書第7章を精読する（60分） 【復習】レジューム発表のシミュレーションをする（60分）	振り返しシート
14) 作成したレジュームを発表する（各教員） 【予習】レジューム発表の練習を行う（60分） 【復習】発表および質疑応答を振り返り、不足点を調べ理解を深める（60分）	プレゼンテーション 振り返しシート
15) まとめ（各教員） 【予習】第14回までの内容を復習する（60分） 【復習】アカデミックスキルズについて復習し、自己分析を行う（60分）	振り返しシート
授業外学習	
教科書を精読し、スキミングし、理解を深める。また、授業終わりに提示される課題を行うことで、復習する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
【テキスト】 アカデミックスキルズ第3版 大学生のための知的技法入門 佐藤 望（編著）2020年、慶應義塾大学出版会	基礎ゼミナール 心理学実験

課題に対するフィードバック

文献リストおよびレジュメは、添削し、コメントを付記して返却する。
プレゼンテーションについては、優れた点と改善点等を口頭で即時フィードバックする。

備考

科目名	心理学基礎ゼミナール			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	高山 智行、海野 博、大石 英史、 小山 典子、榎本 俊哉、木元 卓也、 三島 瑞穂、脇 貴典、小野 洋平、須 藤 竜之介	関連する資格		

授業概要

心理学基礎ゼミナール に引き続き、学生生活が充実するために行う少人数ゼミナールである。教員と学生の交流ならびに学生同士の交流の中で、学習や生活上の知識やスキルについて学ぶ。
本授業は対面授業と遠隔授業を併用して行う。

到達目標

- A1102
- 1) 自分の興味の惹かれるテーマに関連する文献や資料を探することができる。
 - 2) 文献や資料を精読し、整理することができる。
 - 3) 指定された様式で予稿集原稿を作成することができる。
 - 4) わかりやすいスライドを作成することができる。
 - 5) スライドを使って発表することができる。
 - 6) 自分の発表に対する質問に、的確に答えることができる。
 - 7) 他者の発表を聞いて、質問することができる。

成績評価方法

予稿集原稿及びスライド作成40%
授業参加度（発言、質疑応答等） 10%
プレゼンテーション 50%
で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							25
グループワーク							25
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) テーマの選択1 （各教員） 【予復習】図書館やデータベースを使って、興味の惹かれるテーマを探す （計90分）		図書館・データベースを使って、テーマを探す
2) テーマの選択2 （各教員） 【予復習】図書館やデータベースを使って、興味の惹かれるテーマを探す （計90分）		テーマの発表
3) 文献・資料の収集1 （各教員） 【予習】テーマに関連する文献や資料を探す（60分） 【復習】収集した文献や資料を整理する（60分）		図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
4) 文献・情報の収集2 （各教員） 【予習】テーマに関連する文献や資料を探す（60分） 【復習】収集した文献や資料を整理する（60分）		図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
5) 文献・資料の収集2 （各教員） 【予習】テーマに関連する文献、情報を探す（60分） 【復習】収集した文献、情報を整理する（60分）		図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
6) 文献・資料の精査1 （各教員） 【予習】文献・資料の不足を補い、整理する（60分） 【復習】精査した文献や資料を整理する（60分）		資料の整理
7) 文献・資料の精査2 （各教員） 【予習】文献・資料の不足を補い、整理する（60分） 【復習】精査した文献や資料を整理する（60分）		資料の整理
8) 予稿集原稿（概要）の作成1 （各教員） 【予習】予稿集原稿のレイアウトを考案する（60分） 【復習】予稿集原稿を推敲し、必要に応じて修正する（60分）		予稿集原稿の作成
9) 予稿集原稿（概要）の作成2 （各教員） 【予復習】予稿集原稿を推敲し、必要に応じて修正する（計120分）		予稿集原稿の作成
10) スライドの作成 （各教員） 【予習】予稿集原稿に基づき、スライドの構成を決める（60分） 【復習】作成したスライドを必要に応じて修正し、完成させる（60分）		スライド作成
11) 発表リハーサル1 （各教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表を振り返り、必要に応じて修正する（60分）		プレゼンテーションの練習
12) 発表リハーサル2 （各教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表を振り返り、必要に応じて修正する（60分）		プレゼンテーションの練習
13) 発表会1 （全教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける（60分）		プレゼンテーション
14) 発表会2 （全教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける（60分）		プレゼンテーション
15) 発表会3 （全教員） 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける（60分）		プレゼンテーション 振り返り
授業外学習		
各回の授業内容に応じて、文献・資料の検索、整理および精査する。そのうえで、予稿集原稿およびスライドを作成し、プレゼンテーションの練習を行う。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【テキスト】 アカデミックスキルズ第3版 大学生のための知的技法入門 佐藤 望（編著）2020年，慶應義塾大学出版会 前期と同様		基礎ゼミナール 心理学実験 ・ 卒業研究

課題に対するフィードバック

予稿集原稿及びスライドは添削し、コメントする。
プレゼンテーションについては、優れた点と改善点等を口頭で即時フィードバックする。

備考

科目名	情報処理演習（情報リテラシー）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	伊藤 香	関連する資格	初級システムアドミニストレータ パソコンインストラクター資格	

授業概要

現在、多くの情報が電子情報として利用されており、現代社会を生きる我々にとって、インターネットを利用した基本的な情報収集や情報発信の知識を必ず習得しておかなければならない。本演習では、インターネットに関する基礎知識、電子メールのアカウント設定・操作方法、WWWを用いた情報検索・情報収集、簡単なWebページの作成方法などを中心に学習する。演習レポートをすることによって授業内容の理解を深めていく。

講師は、ITコンサルタントとして小規模事業者のITリテラシー向上に寄与するほか、専門学校および社会人を対象にした講座での講師経験があり、それらをもとにインターネットの利活用・Webサイト作成について授業を行う。

到達目標

A1103

インターネットを効果的に活用し、大学生活や学習、将来に必要な情報を効率的かつ安全に得ることができる。インターネット上の危険性について理解する。知的財産や個人情報の保護について理解する。

成績評価方法

期末定期試験、小レポート、授業への取り組み姿勢を総合して評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○						25
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○		○			10
授業態度・授業参加度					○		25
プレゼンテーション		○	○		○		20
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) メールアドレスの設定、パソコン操作の基礎。予習として、事前アンケート。授業の進行の参考にするためです。内容は成績に影響しませんが、回答がなければ、その後の授業で不利になることがあります。	対面・演習・小レポート
2) インターネットの基本的な仕組みを学ぶ。復習では、パソコンに触れて扱いに慣れておきましょう（10分程度）。	対面・演習・小レポート
3) 情報セキュリティ、ウィルスについて学ぶ。復習では、自分が普段使用しているパソコンのセキュリティ対策が十分であるのか確認しておきましょう。個人のパソコンについての相談は応じられません。	対面・演習・小レポート
4) インターネットにおける知的財産権、個人情報の取り扱いについて学ぶ。自分のインターネットの使い方が正しいかどうか、復習では振り返っておきましょう（10分程度）。	対面・演習・小レポート
5) インターネット上の犯罪について事例を通して学ぶ。自分や周りの人が犯罪に巻き込まれないために、正しい知識を身につける。復習では、自分の普段の行動を振り返り、安全を確認しましょう（10分程度）。	対面・演習・小レポート
6) SNSを学習や仕事で活かす方法の他、マナーやリスクについても学ぶ。復習では、実際にSNSを使用したビジネスを探してみましょう（20分程度）。ただし、安全と信用が確認されないものに不用意に近づかないこと。	対面・演習・小レポート
7) インターネットを学習に役立てる。学習に役立つインターネットのサイトを探す。安全で正しい情報を見分け、効果的な学びに活かす。復習では、実際に勉強にインターネットを使ってみましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
8) 心理学の学習に役立つインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を適切に管理、整理する。復習では、授業で得た情報を振り返っておきましょう（15分程度）。	対面・演習・小レポート
9) 心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習では、他教科の課題や自習にインターネットを使ってみましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
10) インターネットを心理学の学習に役立てる。心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習でも続きをやりましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
11) インターネットを心理学の学習に役立てる。心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習でも続きをやりましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
12) インターネットで調べた心理学に役立つサイトについて、どのようなサイトが魅力的なのか、また学びやすいのか等、情報交換と意見交換をする。復習では、良いと思ったサイトを確認しておきましょう（15分程度）。	対面・演習・小レポート
13) インターネットを心理学以外の教養の学習に役立てる。様々な分野が学べるインターネットのサイトを探す。そこで得た情報を効率的に整理する。復習でも、教養となる情報に触れ、興味・関心を深めましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
14) インターネットを心理学以外の教養のサイトについて、情報交換と意見交換をする。簡単な発表をする。復習でも、他の人が発表した教養となる情報に触れ、興味・関心を深めましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート
15) まとめ	対面・演習・小レポート
授業外学習	
インターネット上の危険性について十分に理解した上で、積極的に活用し、自分の興味・関心を広げていくことが望ましい。知識を定着するためには、ネットサーフィンするだけでなく、そこで得た情報を整理して自分の言葉で置き換えたり、自分の考察を深める必要がある。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：使用しない（プリント配布） モラル：プリント配布</p> <p>総務省、経済産業省等公的機関の提供するサイト その他、授業内で有用なサイトを紹介します</p>	<p>情報処理演習（文書作成） 情報処理演習（プレゼンテーション） 情報処理演習（EXCEL）</p>

課題に対するフィードバック

小レポート（課題）の内容が不十分な場合は、やり直しとなります。
授業外にも相談や質問を受け付けています。

備考

この授業の内容は、今後の基礎となるものです。欠席しないようにしましょう。過去の経験によって、授業内容が既に習得済みの内容であるなど、習熟度に大きな差があると思います。その場合も慢心せず、より高度な情報をインターネットで探すなど、自己研鑽してください。また助言や相談は習熟度が上がりますので、他者の学習の妨げにならない範囲で積極的に行いましょう。

科目名	情報処理演習（文書作成）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	三島 瑞穂		関連する資格	

授業概要

近年インターネットや電子メールなどメディアの発達によってコミュニケーションの場面が多様化し、ことばはますます重要になってきている。そこで、本授業では一般社会で通用するコミュニケーション能力の育成を目的とする。口語と文章語など、語彙の感覚を身につけるとともに、上手な文の組み立て方を学習する。また、手紙やさまざまな文章の形式を学び、実践する。

社会人としても大学生としても、パソコンのワープロソフトを用いて文書を作成する能力は重要である。

スマートフォンでも文書を作成するアプリを利用できるが、他のソフトウェアから図やグラフ、写真などを貼り付けることはできず、様式が整わない、大量の文書を作成しづらいといった欠点がある。

大学生としては、レポートの作成、文書の作成、情報の保存といった利用例が挙げられる。まず、大学の授業で出されるレポートはMicrosoft Wordという文書作成ソフトウェアを用いることが多い。様式の整ったレポートを作ることができ、内容の編集や保存、印刷、送付等が容易である。授業の中にはメールでレポートを提出することが求められる場合があり、その場合もWordソフトを使用する必要がある。また、卒業論文は必ずWordソフトを使用する。

社会人としても公式の文書はWordソフトを使用することが多く、会社に勤める際には必須の能力である。

適切な様式で文書を作成する、適切に保存、管理をする、情報を効果的に統合するといった技術は、社会人になる前に習得すべきものである。一般企業はもちろん、心理職でも報告書の作成や論文作成に欠かせない。

ただし、大学入学前に既にこういった技術を習得している学生もいると思われる。そういった学生に対しては、文書作成の技術の習得状況に応じて、レベルの高い課題や資格取得を提案する。

到達目標

ナンバリング(A1104)

Wordソフトウェアを利用した文書作成について、次の技術を習得する。

- ・ローマ字で日本語文章の入力が、60文字/1分 以上の速さでできる。
- ・漢字変換やフォント（文字の形）の選択が問題なくできる。
- ・分かりやすい文書を作ることができる。
- ・他の文書情報、写真、イラスト等の挿入ができる。
- ・表の作成ができる。
- ・レイアウトの変更や調整ができる。
- ・レポートや論文の様式を作ることができる。

成績評価方法

毎回の小レポート課題で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート	○			○	○		10
授業態度・授業参加度	○		○		○		30
プレゼンテーション	○			○	○		10
グループワーク	○		○		○		10
演習	○				○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) Wordソフトウェアの基本的な操作を学ぶ。習熟度を確認する。 予習はPCスキルを確認しておく。 復習はパソコンの基本操作、ローマ字入力等を行う。（各15分程度）	アンケート
2) Wordソフトの基本的な操作、文字入力に慣れる。 レポートの基本的な様式を学ぶ。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を練習する（各15分程度）。	演習・小レポート
3) Wordソフトの機能を用いた効率的な文書ファイルの作成を学ぶ。 文献を調べ、レポートにまとめる方法を学ぶ。 予習・復習：習熟度に応じてPC操作を学ぶ。文献を読み込む。（各15分程度）	演習・小レポート
4) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
5) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
6) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
7) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
8) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
9) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
10) Wordソフトの諸機能に慣れる。レポート作成を進める。 予習・復習は習熟度に応じてPC操作を行う。レポートをブラッシュアップする。（各15分程度）	演習・小レポート
11) ビジネス文書の基本ルールを学び、形式、書き方等に慣れる。 Wordソフトの応用機能を学ぶ。 予習・復習は課題の進行に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
12) ビジネス文書の基本ルールを学び、形式、書き方等に慣れる。 予習・復習は課題の進行に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
13) Wordソフトでチラシを作成する。Wordの機能を用いた効率的な作成のコツを身につける。予習・復習は課題の進行に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
14) Wordソフトでチラシを作成する。Wordの機能を用いた効率的な作成のコツを身につける。予習・復習は課題の進行に応じて行う（各20分程度）。	演習・小レポート
15) 卒業論文や心理学の実験レポート等に活かせるWordソフトの機能を学ぶ。予習・復習は習熟度に応じて行う（各20分程度）。	小レポート
授業外学習	
ローマ字入力に慣れると効率的に文書が作成できるので、なるべく早く正確に入力できるようにしましょう。文書作成は他科目のレポートの作成や課外活動の企画、報告、就職後も色々役立つ立ちます。なるべく普段から使い慣れておきましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：宇野 聖子（著）、藤浦 五月（著）「大学生のための表現力トレーニング あしか：アイデアをもって社会について考える（レポート・論文編）」ココ出版 共有テキスト：実教出版企画開発部「30時間でマスター Office 2021」	情報処理演習（インターネット） 情報処理演習（プレゼンテーション） 情報処理演習（表計算） 心理学研究法 日本語の科学

課題に対するフィードバック

小レポートの内容が不十分な場合は、やり直しとなります。
授業外にも相談や質問を受け付けています。

備考

この授業を受講する学生は、入学前までの経験により、文字入力やソフトの活用方法に関する習熟度に大きな差があると思います。既に習得済みの内容の授業では、関連する内容の範囲で、より高度な情報をインターネットで探すなどしてください。また、人に教えることは自分の能力の向上にとっても役に立ちますので、演習中は助言や相談をお互いにしましょう。

科目名	情報処理演習（表計算）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	伊藤 香	関連する資格	初級システムアドミニストレータ パソコンインストラクター資格	

授業概要

大学の授業における基礎的なデータ集計作業のツールとして、パソコンの表計算ソフト（エクセル）を使用することが多い。この授業では、表計算ソフト（Microsoft Excel）の基本的なしくみと特徴（関数・計算・グラフ・データベース等）を紹介しながら、表計算ソフトExcelを用いたデータ処理に関する演習を行うことにより、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。

講師は、ITコンサルタントとして小規模事業者のITリテラシー向上に寄与するほか、専門学校および社会人を対象にした講座での講師経験があり、それらをもとに表計算ソフトの利活用・データベースについて授業を行う。

到達目標

A1105

- 1) Excelを使用して、表を作成することができる。
- 2) Excelを使用して、計算を行うことができる。
- 3) Excel関数を使用して、データ操作を行うことができる。
- 4) Excelを使用して、作成した表からグラフを作成することができる。
- 5) Excelを使用して、データベースを作成することができる。

成績評価方法

期末定期試験、小レポート、授業への取り組み姿勢を総合して評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○						30
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○		○			15
授業態度・授業参加度					○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 【ガイダンス】授業計画と方針について 【Excelの基礎知識】起動と終了、Excelの概要 【予習】Excel利用歴を振り返る(10分)【復習】遠隔用課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
2) 【Excel入門】 データ入力と簡単な表の作成を行いつつ、Excelの基礎的な使い方を学ぶ 【予習】4章4を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
3) 【Excel入門】 簡単な表を利用して、Excelの基礎的な構造と機能を学ぶ 【予習】4章5を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
4) 【ワークシートの活用】 より見栄えのよい作表技術を学びながら、計算式の基礎を身につける。 【予習】4章6を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
5) 【ワークシートの活用】 よく使う関数や絶対参照など高度な計算式の組み立てを身につける 【予習】4章7を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
6) 【ワークシートの活用】 条件式など高度な計算式を組み立てる力を身につける 【予習】4章11を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
7) 【グラフ】 - グラフの基礎 - 表のグラフ化で訴求力のある資料作りを学ぶ。 【予習】4章10を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
8) 【グラフ】 - グラフの応用 - 特殊なグラフ作成を学び、最適なグラフを選択する力を身につける 【予習】グラフの種類を確認(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
9) 【Excelの応用】 - 高度な関数 - 順位付け関数や参照関数を学び、分析技術を身につける 【予習】4章12を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
10) 【Excelの応用】 - 高度な関数 - 文字列操作に関する関数など、データの形式に影響されない作表を学ぶ 【予習】関数を調べる(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
11) 【データベース】 - データベースの基礎 - Excelデータベース表の作成方法と注意点を学ぶ 【予習】4章13-5を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
12) 【データベース】 - データベースの活用 - 並べ替え・検索・抽出・集計方法を学び、分析力を身につける 【予習】4章13-6を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
13) 【総合演習 1】-複合的な資料の作成- ファイルやシート、アプリソフト等との連携で、各々の特徴を整理する 【予習】4章15を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
14) 【総合演習 2】-複合的な資料の作成- 高度なExcelの活用方法を学ぶ 【予習】配布資料を読む(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
15) 【総合演習 3】-総合演習まとめ 今までの学習を振り返り、苦手部分を各々精査する。 【予習】生活にExcelを取り入れる(10分)【復習】課題を解く(20分)	対面・演習・小レポート
授業外学習	
Excelは社会に出てからも頻繁に使用するソフトです。この授業で覚えた事を授業外でも繰り返し練習しておきましょう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
30時間でマスター Office2021 (Windows11対応)【実教出版】 一部、補足資料(プリント)配布予定	情報処理演習(情報リテラシー) 情報処理演習(文書作成) 情報処理演習(プレゼンテーション)

課題に対するフィードバック

小レポート（課題）の内容が不十分な場合は、やり直しとなります。
授業外にも相談や質問を受け付けています。

備考

この授業の内容は、今後の基礎となるものです。欠席しないようにしましょう。過去の経験によって、授業内容が既に習得済みの内容であるなど、習熟度に大きな差があると思います。その場合も慢心せず、より高度な作表に挑戦するなど、自己研鑽してください。また助言や相談は習熟度が上がりますので、他者の学習の妨げにならない範囲で積極的に行いましょう。

科目名	情報処理演習（プレゼンテーション）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	脇 貴典		関連する資格	

授業概要

フォーマルな場面において発表（プレゼンテーション）を行う能力は、学習の上でも仕事の上でも重要なスキルの一つです。本授業では、プレゼンテーションの理解を深めると共に、プレゼンテーション資料作成の主要なツールであるMicrosoft Power Pointの基本操作方法について学習します。実際にプレゼンテーション資料を作成しながら、プレゼンテーションのテクニックを学び、作成した資料に基づいて発表を行います。

到達目標

A1106

- 1) Power Pointを使用して、基本的なプレゼンテーション資料を作成することができる。
- 2) Power Pointを使用して、アニメーション操作を行うことができる。
- 3) プレゼンテーションのポイントを把握し、プレゼンテーションに活用することができる。
- 4) Power Pointを使用して、プレゼンテーションを行うことができる。

成績評価方法

期末定期試験、プレゼンテーション、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							60
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス 【予習】シラバスを読む、参考資料を読む（15分） 【復習】操作の確認（20分）	授業内課題
2) -PowerPointの基本操作- 構成 【予習】参考資料を読む（10分） 【復習】操作の確認（20分）	授業内課題
3) -PowerPointの基本操作- デザイン 【予習】参考資料を読む（10分） 【復習】操作の確認（20分）	授業内課題
4) -PowerPointの基本操作- アクセシビリティ・ユニバーサルデザイン 【予習】内容の検討（10分） 【復習】内容の検討（20分）	授業内課題
5) -プレゼンテーション資料の作成-情報収集 【予習】内容の検討（10分） 【復習】発表練習（資料の読みこみ）	授業内課題
6) -プレゼンテーション資料の作成 - スライド作成 【予習】資料の読み込み（10分） 【復習】資料作成（20分）	グループワーク
7) -プレゼンテーション- 個人プレゼンテーションの相互評価 【予習】発表練習（10分） 【復習】自己評価（20分）	プレゼンテーション
8) -プレゼンテーション資料の作成-情報収集（文献） 【予習】内容の検討（10分） 【復習】発表練習（資料の読みこみ）	授業内課題
9) -プレゼンテーション資料の作成-文献の読み込み、原稿の作成 【予習】内容の検討（10分） 【復習】発表練習（資料の読みこみ）	授業内課題
10)	グループワーク
11) -プレゼンテーション資料の作成 - スライド作成 【予習】資料の読み込み（10分） 【復習】資料作成（20分）	グループワーク
12) -相互プレゼンテーション - 【予習】発表練習（10分） 【復習】自己評価（20分）	プレゼンテーション
13) -相互プレゼンテーション - 【予習】発表練習（10分） 【復習】自己評価（20分）	プレゼンテーション
14) -プレゼンテーション - 【予習】発表練習（10分） 【復習】自己評価（20分）	プレゼンテーション
15) 振り返りとまとめ 【予習】本授業のふりかえり（10分） 【復習】本授業のまとめ、自己評価（20分）	授業内課題
授業外学習	
この授業では、PowerPointソフトの機能の習熟に加えてプレゼンの内容を重視します。 この授業で覚えたPower Pointの操作を授業外でも繰り返し練習したり、発表にいかしてみましょ。う。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書：30時間でマスターOffice 2021 / 実教出版企画開発部 情報処理演習(インターネット)、情報処理演習(文書作成)、 情報処理演習(表計算)のテキストを兼ねています。このテキストの他、教員が用意する演習課題に取り組みます。	情報処理演習(インターネット)、情報処理演習(文書作成)、 情報処理演習(表計算)

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションの内容について、講評を行います。

備考

- ・この授業の内容は、今後のコンピュータを使用する授業の基礎となるものです。毎回出席するようにしてください。
- ・合理的配慮の申請を歓迎します

科目名	日本語（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	小寺 紀美代		関連する資格	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 対話や活動を通してコミュニケーション能力を高めていく。
 文章表現ルールを整理していくことで、既習文法や文型を正確に使えるようにしていく。自分らしい言葉や表現を探りながら、まとまった文章が書けるようにしていく。課題に関して意見や考えを発表し、質疑にも的確な応答ができるようにしていく。

到達目標

- A1107
- ・積極的なコミュニケーションができるようになる。
 - ・既習文法や語彙が文章の中で正確に使い、適切な日本語表現ができる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、コミュニケーション活動への参加度、課題等

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、プレースメントテスト	
2) 文型練習 自己紹介文作成・発表 【復習】資料再読・文型復習（30分）	発表
3) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法1課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
4) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法1課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
5) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法2課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ペア/グループワーク
6) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法2課、課題文作成 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
7) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法3課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
8) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法3課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	課題文発表 ペア/グループワーク
9) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法3課、課題文作成 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
10) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法4課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ペア/グループワーク
11) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法4課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	課題文発表 ペア/グループワーク
12) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法5課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
13) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法5課、課題文作成 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
14) コミュニケーション活動 文章表現のルール文体、課題文作成 【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
15) 発表、質疑応答、総括	プレゼンテーション
授業外学習	
習得語彙がどんどん増えるように学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的に学習を進めること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『留学生のための文章表現のルール』（スリーエーネットワーク） 他、適宜資料や練習問題を配布	日本語 、 、

課題に対するフィードバック

練習問題、短文作成等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。

備考

科目名	日本語（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。

文章表現のルールを整理し、自然な日本語でより良い文章を書けるようにしていく。類似表現や使い方を間違えやすい文法を整理することで、正確な日本語が使えるように練習していく。グループ討議やスピーチを通して、日本語運用能力を高めていく。

到達目標

A1108

- ・より豊かな日本語表現を身に付ける。
- ・文章表現ルールや語彙を的確に使いながら、自分の考えをまとめ、意見を述べたり、スピーチができる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、コミュニケーション活動への参加度、課題等

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション コミュニケーション活動 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
2) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法6～9課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
3) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法6～9課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
4) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法10課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ディスカッション
5) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法13課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
6) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法13課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
7) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法14課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
8) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法14課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク プレゼンテーション
9) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法14課（発展：ストーリー作成） 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ディスカッション
10) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法15課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
11) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法15課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
12) コミュニケーション活動（スピーチの組み立て方） 文章表現のルール文法16課 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
13) コミュニケーション活動（1分間スピーチ） 文章表現のルール文法16課 【予習】スピーチ作成 【復習】資料再読、練習問題（60分）	プレゼンテーション ディスカッション
14) コミュニケーション活動（1分間スピーチ） 文章表現のルール文法16課 【予習】スピーチ作成 【復習】資料再読、練習問題（60分）	プレゼンテーション ディスカッション
15) コミュニケーション活動（3分間スピーチ） 総括 【予習】スピーチ作成	プレゼンテーション
授業外学習	
習得語彙がどんどん増えるように学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的に学習を進めること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『留学生のための文章表現のルール』（スリーエーネットワーク） 他、適宜資料や練習問題を配布	日本語、

課題に対するフィードバック

練習問題、スピーチ等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。

備考

科目名	英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。社会人として必要とされる程度の英語力を身につけるための基礎として、日常生活でよく使う単語を各授業で取り上げ、コミュニケーションへと繋げていく。また、必要に応じて文法の指導や英文のリーディング及びライティングの指導を行う。

到達目標

A1109

- 英語の基本的文法事項を理解することが出来る。
- 英語で基本的なコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 英語の4技能についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート1の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 前期間中に英語で口頭発表をしてもらう。
2) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『An Amazing Avenue for the TOEIC L&R Test 400』 ?寛美 他編著 成美堂	英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。英文を速読するための知識・技術の向上を図る。一定の量の英文の内容に関してポイントを解説した後、出来るだけ早くパラグラフ・リーディングを行ってゆく。毎回演習問題を宿題として課す。訳読も行うが、様々な種類の英語の文章を出来るだけ効率的に読むための訓練を行うことをあくまでもこの科目の主眼とする。

到達目標

A1110

- 1 英語の文法事項を深く理解することが出来る。
- 2 英語で社会人としてのコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポートで評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 英語の4技能についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート2の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 後期間中にレポートを提出してもらおう。
2) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『Best Practice for the TOEIC L&R Test』 吉塚弘他編著 成美堂 別途、各自でTOEICの問題集を購入してもらいたい。	英語

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	瀬崎 譲廣		関連する資格	

授業概要

「人は一人では生きていけない」 このテーマは、文学作品や音楽などあらゆる表現媒体において古くから扱われてきたが、それは人文科学・社会科学と分類される諸学問の究極のテーマでもある。社会学という学問は、社会的な生物である人間の「社会的な」という部分にフォーカスを合わせ、人間（たち）を観察し、分析し、人間社会における法則性を発見しようという学問と言える。この授業では、社会学という学問が生まれるにいたった背景から話をはじめ、学生皆さんの多くが共通に経験した、またこれから経験するであろう社会について概説する。また、現代社会の問題について、社会学の観点からの指摘を紹介する。これによって、「社会学的なものの見方」を理解することを授業の目的としたい。

到達目標

A1301
社会学についての基本的な知識や、考え方の特徴を理解する
社会学の観点から、現代社会が抱える諸課題について理解する

成績評価方法

講義中に課す宿題や小レポート等、および定期試験によって評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーリング 社会学の特徴		グループワーク
2) 社会の近代化と社会学の成立 復習：小レポート（10分程度）		
3) 社会の近代化と社会学の成立 復習：小レポート（10分程度）		
4) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）		
5) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）		
6) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）		
7) 社会学の調査方法 復習：小レポート（10分程度）		グループワーク
8) 社会化の社会学 復習：小レポート（10分程度）		
9) 学校の社会学 復習：小レポート（10分程度）		グループワーク
10) 産業社会と組織の社会学 復習：小レポート（10分程度）		
11) 家族の変容の社会学 復習：小レポート（10分程度）		
12) 家族の変容の社会学 復習：小レポート（10分程度）		
13) 地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）		
14) 地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）		グループワーク
15) 授業全体のまとめ		
授業外学習		
特に課しませんが、授業に関連することで興味を持ったことや分からないことなど、自分で積極的に調べることを期待します。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
授業中に配布する資料を用いて授業を進める。 教科書は指定しない。 参考書は授業中に適宜紹介する。		

課題に対するフィードバック

小レポートには次回コメントを付けて返却。または、提出された小レポートをふまえた授業を行う。

備考

授業のなかで、資料等の読解に関連して質問を適宜行います。積極的な参加、発言を期待します。

科目名	法学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二		関連する資格	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 社会・経済生活や相談援助活動における法の役割・機能を念頭に、憲法・民法・刑法・行政法などについての基礎知識を修得する。
 また、法の全体像を認識するために、法の主要領域（憲法・民法・刑法・行政法など）の実例から、法の基本的な原理・原則および構造を理解するとともに、各法領域の学習の主要な部分を占める法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を身につける。

到達目標

A1302
 法の主要な領域の基礎知識を理解し、説明することができる。
 法の基本的な原理・原則および構造ならびに法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を理解し、説明することができる。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							67
小テスト、授業内レポート							28
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 法とは何か、社会と法、六法の使い方・読み方。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	『ポケット六法』の凡例を読んで、六法を実際に試してみる。
2) 契約の成立、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
3) 契約の有効要件、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
4) 契約の取消し・無効、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
5) 契約の主体（自然人と法人） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
6) 契約の主体（代理） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
7) 契約の効力発生時期、期間の計算 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
8) 時効と除斥期間 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
9) 損害賠償 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
10) 犯罪の成立 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
11) 犯罪者の処遇（刑罰制度） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
12) 刑事裁判（裁判員裁判） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
13) 憲法と人権 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
14) 制定法の種類と効力 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
15) 制定法の解釈方法 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用しません。事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『ポケット六法令和6年版』（有斐閣、2023年）。 テキストは用いないが、六法は学習に必要。受講にあたっては、『ポケット六法令和6年版』（有斐閣、2023年）を持参すること。第1回目の授業から使用します。	

課題に対するフィードバック

小テストについて実施当日または次回の授業で解説する。

備考

科目名	経済学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	西山 慶司	関連する資格		

授業概要

本授業は、テレビ・新聞・インターネットなどのメディアで報道される社会の事象から、広い意味での「経済」（政府、民間など）が私たちの生活に与える影響について学びます。また、本授業は公共部門で勤務経験がある教員が、「経済」の基本的な知識や実際の課題について講義します。

なお、本授業は原則Google Classroomを活用した遠隔授業を隔週で実施しますが、必要に応じて別の方法による双方向的な授業も実施する予定です。

到達目標

A1303

「経済」に関する基本的な特徴・考え方を習得し、社会の現状や課題について理解を深めることができる。

「経済」に関するDVDを視聴し、その内容についての課題レポートを作成することができる。

自らが積極的に社会の動向について関心をもつことができる（時事に強くなる、ニュースの深層がわかる）。

成績評価方法

授業への貢献度、課題・期末レポートの内容などから、総合的に評価します。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート		○	○				30
宿題、授業外レポート	○			○			30
授業態度・授業参加度			○		○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、講義ガイダンス 【予習】授業計画で示されている用語の意味などについて調べ、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
2) サंकコスト 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
3) 機会費用 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
4) 比較優位 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
5) インセンティブ 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
6) モラルハザード 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
7) 逆選択 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
8) 講義前半の振り返り 【予習】わからなかった用語の意味などについて確認し、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
9) 価格差別 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
10) 裁定 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
11) 囚人のジレンマ 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
12) 共有地の悲劇 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
13) 割引現在価値 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
14) ネットワーク外部性 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
15) 講義全体のまとめ 【予習】持ち帰り試験方式のレポートを作成する（120分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
授業外学習	
授業中の課題レポート提出と、持ち帰り試験方式の期末レポート提出を予定しています。また、必要に応じて、授業外の課題レポート提出を実施します。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
吉本佳生監修、NHK出版社が楽しい経済学DVDブック、日経BP社、2009年。その他、必要なものは授業内で適宜指示します。	

課題に対するフィードバック

授業中の課題レポートの解答例は、次回授業時に提示します。

備考

本授業の進行とテーマは弾力的に運用する場合があります。なお、遠隔授業については、録画・録音・撮影を行わないなどの配慮をお願いします。

科目名	経営学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	海野 博	関連する資格		

授業概要

この講義では、心理学部の学生が、経営学の基本的な知識を学ぶことによって、ものごとの経営学的な見方、とらえ方、考え方を身につけることを主眼としている。そのために、身の回りにあるたくさんの教材を紹介することからはじめ、会社・企業・経営の概念、経営理念と経営者の役割、株式会社や持分会社の特徴、会社法、経営管理、経営戦略、さらに昨今重要性を増している企業の社会的な責任と企業倫理、及びコーポレート・ガバナンスにいたるまで、それらを分かりやすく教授する。とくに、新聞や雑誌の経営関係記事、企業のホームページ等を積極的に利用し具体的で分かりやすい授業を心がける。

到達目標

ナンバリング(A1304)
入学前に経営的知識がなかった学生であっても、物事に対する経営学的な見方、とらえ方、考え方を十分に身につけ、他者に説明することができる。

成績評価方法

定期試験及び授業内小テスト、復習課題の提出にもとづき、総合的に評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							25
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 経営学を学ぶ(イントロダクション) 【予習】『やさしく学べる経営学』第1章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	Google Classroomを併用し、復習課題についてGoogle Classroomで提出する。
2) 日常生活から経営学を学ぶ 【予習】『やさしく学べる経営学』第1章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。
3) 会社・企業とは何か 【予習】『やさしく学べる経営学』第2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。
4) 会社の種類と特徴 【予習】『やさしく学べる経営学』第2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。
5) 株式会社とその特徴 【予習】『やさしく学べる経営学』第2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。 小テストの実施。
6) 起業と株式会社の設立 【予習】『やさしく学べる経営学』第2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。
7) 所有と経営の分離 【予習】『やさしく学べる経営学』第2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。
8) 経営者と経営理念 【予習】『やさしく学べる経営学』第1、2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。
9) 経営者とその役割 【予習】『やさしく学べる経営学』第1、2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。
10) 生産と生産管理 【予習】『やさしく学べる経営学』第6章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。 小テストの実施。
11) 流通と流通管理 【予習】『やさしく学べる経営学』第7章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。
12) マーケティングのしくみとマーケティング戦略 【予習】『やさしく学べる経営学』第8章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。
13) 企業の存在価値とその社会的責任 【予習】『やさしく学べる経営学』第10章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。
14) 企業の不祥事と企業倫理 【予習】『やさしく学べる経営学』第10章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。
15) コーポレート・ガバナンス 【予習】『やさしく学べる経営学』第1、2、3、10章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてGoogle Classroomで提出。
授業外学習	
講義で学ぶことの予習と復習。テキストの該当章をしっかりと読むこと。 加えて、復習課題の作成。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト： 海野博他著『やさしく学べる経営学（第2版）』（創成社） 参考書： 大坪和敏監修『図解会社法 令和4年版』（大蔵財務協会） 日本経済新聞社編『Q&A 日本経済のニュースがわかる！ 2024年版』（日本経済新聞社）	ビジネス心理学概論、経営組織論、産業・組織心理学

課題に対するフィードバック

小テストと定期試験は原則返却する。作成した復習課題は翌週の授業で解説または評価する。第15回の復習課題については授業時間内に解説する。

備考

原則、対面授業で実施するが、新型コロナの感染状況次第で、遠隔授業を実施することもある。その場合にも、Google Meetを用い、正味90分の授業を行う。「事前配付資料」がある場合には、Google Classroomにて配布（添付）する。

科目名	地域文化論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	内田 鉄平	関連する資格		

授業概要

総論では「文化とは何か」について述べた上で、比較文化論的な視点から日本文化の大づかみな特徴を述べる。各論では、山口県及び宇部市の文化をはじめとする日本の文化のさまざまな側面をとりあげて、文化との関連で日本社会の構造的な特性を理解してもらうようにする。

到達目標

A1305
日本独自の文化について理解する。山口県及び宇部市の地域文化について理解する。

成績評価方法

期末試験と講義の参加意欲で評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 香川昌子と女子教育 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
2) 食文化 和食の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
3) 出帆文化の隆盛 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
4) 道具と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
5) 居住空間-竪穴住居から文化住宅まで 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
6) 文化を伝える-山口県の方言 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
7) 祭礼と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
8) 北浦の捕鯨と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
9) 芸能文化と山口県 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
10) 山口・宇部の食文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
11) 宇部市の発展と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
12) 彫刻のまち宇部の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
13) 宇部市の文化財 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
14) 宇部村から宇部市へ-石炭産業と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
15) 総論（講義全体を通して学生の理解度を考慮して適宜に補足説明を行う）予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	講義全体の総括として質問を受ける。
授業外学習	
講義で適宜に参考文献を紹介しますので、余暇の時間に余裕があれば読んでもらう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回プリントを配布します。	

課題に対するフィードバック

希望者がいれば、期末試験の成績を開示します。

備考

科目名	ジェンダー・人権論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二		関連する資格	

授業概要

判例の展開に留意しながら、日本国憲法の基本原理ならびに基本的人権（包括的基本権、平等権、自由権、参政権、社会権）を理解する。
また、子どもの権利やジェンダーに関する諸問題についても考える。

到達目標

A1306

- 立憲主義の意義を理解する。
- 主要な人権の内容を理解する。
- 子どもの権利およびジェンダーの観点から人権を理解する。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							65
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 憲法と人権 【予習】立憲主義について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
2) 人権の分類（自由権・参政権・社会権）とその概要 【予習】憲法という語を手掛かりにして憲法の意味を考える（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
3) 子どもの権利の国際的展開 【予習】子どもの権利の歴史について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
4) 子どもの意見表明権 【予習】日本における子どもの権利の受容状況を調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
5) 子どもの権利の保障構造 【予習】子ども・父母・国の三者関係について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
6) 人権の享有主体 【予習】テキストTheme1、2および14を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
7) 幸福追求権 【予習】テキストTheme3および4を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
8) 女性の権利と人工妊娠中絶 【予習】日本の人工妊娠中絶をめぐる法状況を調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
9) 女性の権利と社会的慣行 【予習】日本における「氏」をめぐる法状況を調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
10) 法の下の平等 【予習】テキストTheme5を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
11) 法の下の平等 【予習】テキストTheme6を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
12) 精神的自由権 【予習】テキストTheme7を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
13) 精神的自由権 【予習】テキストTheme8および9を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
14) 経済的自由と社会権 【予習】テキストTheme10および11を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
15) 人身の自由 【予習】テキストTheme13を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用します。また、事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行『いちばんやさしい憲法入門 [第6版]』（有斐閣、2020年）。その他参考となる文献は、適宜授業中に紹介します。	

課題に対するフィードバック

小テストの解答は、実施当日または次回の授業において解説します。

備考

科目名	時事問題講読			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

ディプロマポリシーのうち、「知識の応用力と判断力」を高めるための演習です。最初の1、2回はビジネスの各分野（例えば、エネルギー、車、宇宙、農業、AIなど）の現状と将来性について概要を説明する。3回目より時事問題で各自が興味をもったテーマを選んでエビデンスに基づいてプレゼンテーション（そのテーマの現状と将来性）を行い、議論を通じて認識を深める。なお、エビデンスについては、新聞やネットの情報を使って、参考となる統計値などを用いて、作成する。加えて、各分野の将来性については心理面からのアプローチについても言及する。

授業の評価は、エビデンスの作成、プレゼンテーション能力、議論への積極的な参加について評価する。

到達目標

A1307

時事問題について、自分の考えを主張できるようにする。また、刻々と変化する時事問題についての知識を常にアップデートできるように実力をつける。

成績評価方法

各回のプレゼンテーションへの参加、質問などの積極的な取り組みを重点的に評価する。また、資料の作成について評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク			○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 科学技術と社会とのかかわりについて考えていくための考え方の枠組み、スキル、背景知識などを身に付けてもらための基本的な話をします。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 科学技術についてよく考えるための手助けとして、クリティカルシンキングと科学技術社会論をミックスしたものを話す。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 議論の吟味の大まかな流れとして（1）議論の特定 （2）言葉の意味の確定 （3）前提の検討 （4）推論の検討について説明する。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 予防原則、思いやりの原理、EBM（根拠に基づく医療）、統計リテラシー、シミュレーションの信頼性などについて説明する。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) ウイルスについての立ち位置について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) エネルギー；化石燃料、再生可能エネルギー、原子力、人工光合成などについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 地球温暖化について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 自然災害について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 宇宙産業について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) AI・ロボットについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 量子論、量子コンピューターなどについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 食糧について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 医療について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) メタバースについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) 全体の総まとめをする。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	時事問題講読

課題に対するフィードバック

毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。

備考

科目名	時事問題講読			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

最初に（第1回）、 の取り組み状況と達成度について議論を通じて理解を深めた上で、 の取り組みを始める。 の取り組みをさらに掘り下げた内容を盛り込んで、エビデンスを作成し、プレゼンテーションを行い、議論を通じて時事問題への考え方、対処法について学修する。この授業終了時には、ディプロマポリシーのうち、「知識の応用力と判断力」が高まっていることを目標とする。

授業の評価は、エビデンスの作成、プレゼンテーション能力、議論への積極的な参加について評価する。

到達目標

A1308

新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

エビデンスの作成、プレゼンテーション能力、議論への積極的な参加について評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク			○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 科学技術と社会とのかかわりについて考えていくための考え方の枠組み、スキル、背景知識などを身に付けてもらための基本的な話をします。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 科学技術についてよく考えるための手助けとして、クリティカルシンキングと科学技術社会論をミックスしたものを話す。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 議論の吟味の大まかな流れとして（1）議論の特定 （2）言葉の意味の確定 （3）前提の検討 （4）推論の検討について説明する。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 予防原則、思いやりの原理、EBM（根拠に基づく医療）、統計リテラシー、シミュレーションの信頼性などについて説明する。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) ウイルスについての立ち位置について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) エネルギー；化石燃料、再生可能エネルギー、原子力、人工光合成などについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 地球温暖化について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 自然災害について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 宇宙産業について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) AI・ロボットについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 量子論、量子コンピューターなどについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 食糧について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 医療について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) メタバースについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) 全体の総まとめをする。その後に意見を求める。予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	時事問題講読

課題に対するフィードバック

毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。

備考

科目名	生物学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	祐村 稔子		関連する資格	

授業概要

生物学は急速な進展を続けており、その成果として遺伝子組換え作物や新薬の創出、遺伝子診断、着床前診断にみられるように、従来に増して格段に我々の生活に大きな影響を与えるようになっている。本講義では、高校までの生物をベースに、生体の持つ機能や遺伝の仕組み、生命を維持する機構、生物の多様性、進化等について学ぶ。

到達目標

A1309

1. 生命のなりたちを分子のレベルで理解する。
2. 人体のなりたちと統合のしくみを理解する。
3. 生命をめぐる現代の課題について正しく理解し、各自の考えを明確に表現する。

成績評価方法

ミニ・レポートおよび最終試験結果をあわせて総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 生命、その起源と進化の道のり 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
2) 生命の最小単位「細胞」：細胞の構造と細胞小器官 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
3) 生命を演ずる分子たち1：生体内で働く分子いろいろ 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
4) 生命を演ずる分子たち2：脂質と生体膜 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
5) 生命を演ずる分子たち3：アミノ酸とタンパク質 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
6) 生命を演ずる分子たち3：タンパク質は働き者 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
7) 生命を演ずる分子たち4：生命の設計図：ヌクレオチドと核酸 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
8) 生命を演ずる分子たち4：遺伝子の発現 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
9) 病気との闘い：DNAの傷害と修復 がんの生物学 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
10) 遺伝子組換え技術とその応用、ヒトの遺伝と遺伝病 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
11) 生命は動く、細胞は動く：細胞骨格と細胞運動 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
12) 多細胞体内における情報伝達機構1：ホルモンの働きと恒常性 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
13) 多細胞体内における情報伝達機構2：神経系の働きと脳 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
14) 免疫のしくみ 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
15) 生命活動とエネルギー：太陽・光合成・細胞エネルギー・化石燃料 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）	小レポート
授業外学習	
<p>毎回、授業に関連した参考資料を配布します。これを読んだの考察や感想、あるいは指定したテーマに関しての小レポート作成をホームワークとします。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：伊藤明夫著「いのちの科学」（培風館）</p>	

課題に対するフィードバック

小レポートへのコメント集を配布

備考

科目名	健康科学（食と健康）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	前期			
担当者名	上田 真寿美、田坂 克子		関連する資格	上田真寿美:公認心理師、健康運動指導士、中・高等学校教員免許（専修・保健体育）、学位（博士：人間環境学）			
授業概要 本授業は対面授業とする。 本講義では、健康の定義を明らかにし、生涯を通して健康なライフスタイルを確立するための方法を考えさせる。本講義では、食および運動と生活習慣病との関連を中心に取り上げる。食と健康の関係を、栄養学および食品学の観点から考察して食生活の重要性を理解させる。また、健康の維持・増進における運動の重要性を運動生理学の観点から概説し、運動と栄養との係わりおよび有効な運動の実践方法を理解させる。 (上田 真寿美/8回) 現代生活における健康と運動の重要性について概説し、各ライフステージにおける健康維持のための運動やスポーツに触れる。 (田坂 克子/7回) 健康づくりと食生活について概説し、生活習慣病予防に重要な食生活改善の取り組みや食の安全性について触れる。 実務経験：上田真寿美は、山口大学医学部・国際総合科学部にて「運動健康科学」等の授業を担当した実務経験をもとに、本授業の健康維持のための運動について講義を行う。							
到達目標 A1310 具体的に以下の観点から到達目標を設定している。 【知識・理解の観点】 1.現代社会における健康問題について説明できる。 2.現代生活における健康と栄養・運動の意味について説明できる。 3.生活習慣病の予防や医療費の増大への栄養・運動の寄与について説明できる。 4.栄養・運動と心身の関連について説明できる。 5.健康な生活を送るための具体的な栄養・運動の実践方法について説明できる。 【思考・判断の観点】 1.授業で取り上げた各領域について、自分の意見を論理的に述べるができる。 【関心・意欲・態度の観点】 1.健康、栄養・運動への関心を広げ、問題意識を高めて、自らその解決方法を探ろうとすることができる。 2.日常生活の中で健康問題や栄養・運動について主体的に考えることができる。 【技能・表現の観点】 1.現在および将来にわたり、健康保持増進のための方策を立て実践することができる。			成績評価方法 授業態度、レポート及び試験等により総合的に評価する。 具体的には以下とする。 1.授業内で発表、レポートを数回行う。 2.関心のある健康問題に関するレポートを宿題として課す。 3.最終試験を実施する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、我々を取り巻く健康問題（担当：上田真寿美） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
2) 現代生活における健康と運動 - これからの健康づくりと運動（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
3) 現代生活における健康と運動 - 疾病予防のための運動とは（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
4) 現代生活における健康と運動 - 運動不足と健康障害（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	グループワーク
5) 運動と身体健康 - ヒトの発育・発達 ヒトにおける形態や機能の変化（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
6) 運動と身体健康 - 乳児～青少年の健康と運動・スポーツ（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
7) 運動と身体健康 - 成人～高齢者の健康と運動・スポーツ（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
8) 運動と身体健康 - 女性の健康と運動・スポーツ（担当：上田真寿美） 中間総括（特に運動と健康領域） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	小テスト
9) 健康づくりと食生活（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
10) 食生活の変遷と栄養の問題点（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
11) 生活習慣病の予防(1)（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
12) 生活習慣病の予防(2)（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	グループワーク
13) 食生活改善への施策（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
14) 食の安全性と表示（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	小テスト
15) 総括（担当：田坂克子） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）	
授業外学習	
当該授業の前週に、次週の授業の資料配布と参考文献を提示する。それについて予習を行い授業に参加すること。授業内容について毎回まとめておく。それらを参考に課題レポート（授業内・宿題）を作成し提出する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用せず、適宜、書き込み式資料を毎回配布する。	

課題に対するフィードバック

提出された課題レポートについては翌週コメントを付けて返す。

備考

科目名	人体の構造と機能及び疾病			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	福田 信二	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

人間を理解するために人体の構造や機能および器官の生理機能を習得する。さらにさまざまな疾病について概観したうえで、健康の維持・増進のための、保健・医療・福祉の連携および医事法制に関する必要性と重要性について習得する。具体的には授業計画に記載しているが、生活習慣病をはじめとする内科疾患、血液・免疫疾患、難病、骨折をはじめとする整形外科疾患、性・泌尿器疾患、がん、感染症、精神疾患、神経疾患、周産期医療などについて習得する。心理学は生物学と離れて存在するものではなく、本講義が生物学的、医学的、さらにヒトとしての深い理解をもたらす一助になることを願っている。

到達目標

A1311a
人体、疾患について理解し、心理的支援について理解する。

成績評価方法

試験などによる総合評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1) 生命の成り立ち、生老病死、人体の構造、心に関わる構造を理解する 予習 テキスト序章をよく読んでおく（30分） 復習 講義内容をまとめる（60分）	人体の構造：血管系、骨格系、筋肉系、細胞の構造を図示する
2) 2) 消化器とその病気（栄養を含む） 予習 第1章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
3) 3) 循環器・呼吸器とその病気 予習 第2, 3章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
4) 4) 内分泌・代謝とその疾患 予習 第4章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
5) 5) 高血圧・肥満・糖尿病・腎臓とその病気 予習 第4, 5章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
6) 6) 血液・リンパ・免疫・感染症とその病気 予習 第6章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
7) 7) 脳・神経系とその病気、難病について 予習 第7章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
8) 8) 感覚器（皮膚、耳、鼻、眼、舌） 予習 第8, 9章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
9) 9) アルコール依存症、薬物依存症、ギャンブル障害、ゲーム障害 予習 第10章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
10) 10) 性・生殖・妊娠・性周期と先天性異常 予習 第11章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
11) 11) 筋・骨格系とその病気、リハビリテーションの理解 予習 第12章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
12) 12) 睡眠の仕組みと病気 予習 第12章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
13) 13) 難病・がんとその治療、緩和医療、移植医療 予習 第14章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
14) 14) 健康と健康増進の理解 予習 自分・家族の健康について考えてみる（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
15) 15) 国際生活機能分類 予習 第15章をよく読んでおく（30分） 復習：講義内容をまとめる（60分）	
授業外学習	
予習：テキストの各章をよく読んでおく。 復習：講義内容をまとめる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
公認心理師 ベーシック講座 佐々木 幸編著 「人体の構造と機能および疾病」	

課題に対するフィードバック

前回の授業のフィードバックを授業の最初に行う。小レポートは、翌週の授業の中でコメントする。

備考

科目名	動物と心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	高岡 祥子、齋藤 慈子、高野 裕治 、瀧本 彩加、山本 真也	関連する資格		

授業概要

心理学は一般的に、ヒトの心や行動の全般を扱う学問領域とされていますが、研究対象はヒトだけではありません。この授業では、心理学で動物を対象に研究する意義について知ることからはじめ、次に、各分野の専門家が様々な動物の多様な心のはたらきや、動物を対象にした研究から分かってきたこと、心理学における動物の役割などについて幅広く紹介します。動物を対象とした研究には私たちと生活をともにするコンパニオン動物（ネコ、イヌ）、人の生活をサポートしてくれる使役動物（ウマなど）、私たちとは生活圏を異にする野生動物によるものがある。これらの三つの視点で、動物の心の研究を知ることによって、それぞれの動物の知性と人間の知性とを比較することを試みる。そして、私たち人間の心と社会の独自性を知ることを目指す。さらには、人間の健康は心理学、薬学、医学の発展によって支えられてきた訳だが、これらの研究分野においても動物は活躍している。これを実験動物といい、人間の代わりとして実験に参加しており、心理法則や脳内機構の解明に寄与している。それらの成果が集約されることで、創薬分野は特に発展してきたと言える。そして、最後に動物の心を理解するのに役立つユクスケル（ユクスケル）の環世界論、ギブソンのアフォーダンス理論、ウィナーサイバネティクス理論を紹介する。本講義全体を通して、様々な視点から研究されてきた動物行動について知ることによって、心についての視野を広げ、私たち人間の心と社会のあり方について考えるきっかけにしてもらえたらと思う。

到達目標

A1312

心理学という学問領域において、動物を対象に研究することの意義を知り、動物を対象とした研究にはどのようなものがあるのか、そこから何が分かってきたのかを理解する。

成績評価方法

最終試験で評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○	○				100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 担当：齋藤慈子 イントロダクション 動物の心を探る意義 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
2) 担当：齋藤慈子 ネコの対ヒト社会的認知能力 ~ネコはヒトのことをどのくらいわかっているのか~ 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
3) 担当：齋藤慈子，ゲストスピーカー：永澤巧 ネコとのかかわりによって生じるヒトの心理・生理・社会的な影響 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
4) 担当：高岡祥子 イヌとヒトの関係 ~イヌを対象に研究する意義~ 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
5) 担当：高岡祥子 イヌの対ヒト社会的認知能力 ~イヌはヒトのことをどのくらい分かっているのか~ 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
6) 担当：高岡祥子 イヌとのかかわりによるヒトの心の変化 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
7) 担当：瀧本彩加 ウマの社会性 ~ウマとの絆・ヒトとの絆~ 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
8) 担当：瀧本彩加 ウマの知性 ~対ヒト社会的認知能力~ 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
9) 担当：瀧本彩加 霊長類の知性 ~利他行動とそれを支える心理~ 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
10) 担当：山本真也 知性と社会性の進化 ~チンパンジー・ボノボを中心に~ 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
11) 担当：山本真也，ゲストスピーカー：大西絵奈 社会性をはぐくむ同調メカニズム 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
12) 担当：山本真也，ゲストスピーカー：野口（入江）尚子 アジアゾウの社会と知性 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
13) 担当：高野裕治 ヒト行動のモデルとしての動物 : 人間の心の法則を知るために、活躍するラット，ハト（学習心理学の視点の研究） 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
14) 担当：高野裕治 ヒト行動のモデルとしての動物 : 人間の心のメカニズムを知り、心の不調を支える薬を開発するためのラット・マウス実験（行動神経科学・行動薬理学の視点の研究） 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
15) 担当：高野裕治 動物の心を探るための諸理論：環世界・アフォーダンス・サイバネティクス 【復習】配布資料の見直し（15分）	授業内容について各自で振り返り、感想や質問をまとめて提出する
授業外学習	
配布資料の内容を理解し、疑問点やさらに深く知りたい内容について自分で調べて整理する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用しない。適宜講義資料を配布する。	

課題に対するフィードバック

質問等には授業で対応する

備考

科目名	地球の環境			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料の配布を行います。

この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。この授業は、受講者が地球の現在・過去・未来について考える際に、知っておくべき自然科学系の話（社会科学系も含んでおり、文系・理系の枠を超えた視点にチャレンジする）。この授業の最も重要なことは「事実と意見」の区別と「時間と空間のスケール」を意識すること。この授業の受講後、新聞で毎日のように取り上げられている自然科学系（地球の環境も含めて）の記事の内容がある程度、理解できるようになる。

到達目標

A1313

自然科学系に関する新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 「地球の歴史、何がわかっているの？未来は」 予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 「宇宙の始まり」「地球誕生・生物誕生」 予習；宇宙の始まりの部分について概観する（30分）。復習；宇宙、地球の誕生について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 「人間社会の形成」 予習；人間社会の形成について概観する（30分）。復習；生物の誕生から人間社会の形成までをもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 「熱収支と四季」 予習；熱収支について概観する（30分）。復習；熱収支と四季の起こる原因についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 「水と大気の大循環」 予習；水と大気の大循環の部分を概観する（30分）。復習；水と大気の循環の要点をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) 「森林消失と生物種絶滅」 予習；森林消失と生物種絶滅の関係について概観する（30分）。復習；森林の現況と生物種の関係についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) 「オゾン層破壊・PM2.5」 予習；オゾン層破壊とPM2.5について概観する（30分）。復習；オゾン層破壊、PM2.5の現況についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 「温暖化モデルとIPCC」 予習；温暖化、原因物質、IPCCについて概観する（30分）。復習；IPCCの作業原則と温暖化モデルの精度の現状について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 「周期的変動」 予習；海、大気の周期変動について概観する（30分）。復習；偏西風の動き、海洋の様々な周期変動についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 「化石燃料から再生可能エネルギーへ」 予習；化石燃料と新エネルギーの現況について概観する（30分）。復習；化石燃料と再生可能エネルギーのバランスについてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 「炭素社会から水素社会に」 予習；水素利用の現状について概観する（30分）。復習；水素社会の到来の時期についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 要点整理（グループ討議とレポート提出準備） 予習；11回までの内容についてもう一度、読み込む（30分）。復習；グループ討議で疑問に思ったことを解決して、レポートを作成する（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 「未来予測」 予習；未来の予測について概観する（30分）。復習；未来のイメージについてもう一度、考えてみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 「天気予報と災害への備え」 予習；最近の異常気象について概観する（30分）。復習；様々な自然災害に対処する手順を整理する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) 「まとめ」 予習；資料全体をもう一度、概観する（30分）。復習；テストに備えて重要なところをもう一度、読み込む（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。 講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。	

課題に対するフィードバック

毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。

備考

科目名	統計学基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	松本 治彦	関連する資格	認定心理士	

授業概要

授業は対面で実施します。なお、Classroomを使って資料の配布を行います。
この科目はディプロマポリシーのうち、「柔軟な思考と表現力」を身に付けるために、また「心理学の基礎的思考方法」を学ぶための授業です。
受講者はまず最近、重要度が増している「統計学とAI」の関係について学ぶ。次に統計学の歴史について深く学ぶ。その上で、統計学の様々な用語を理解して統計学を将来の仕事の道具として使いこなせるようにする。
統計学は現状把握と予測のためと見られているが、じつは限られたデータを使って全体の因果関係を探る学問。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせるのに役立たせる。

到達目標

A1314b
統計値の科学的意味を的確につかむ。グループ討議を通じて、コミュニケーション能力を發揮する。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせることができるような実力をつけるための基礎力を身に付ける。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 統計学とAI,生成AI 予習；統計学とAIの関係について概観する（30分）。復習；統計学とAIの部分についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2) 人工知能とは 予習；人工知能の部分について深く思考する（30分）。復習；人工知能の部分を整頓しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3) 統計学の歴史 予習；統計学の歴史について概観する（30分）。復習；統計学の歴史について再確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4) 統計学の考え方 予習；統計学の考え方、データの科学的見方の部分について概観する（30分）。復習；統計学の考え方、データの科学的見方のチェックをしておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5) 把握・予測・洞察の統計学 予習；予測・洞察の統計学を概観する（30分）。復習；予測・洞察の統計学について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6) ジョン・スノウと疫学 予習；疫学の歴史について概観する（30分）。復習；疫学の歴史について確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7) データの科学的な見方 予習；データの科学的な見方について調べておく（30分）。復習；データの科学的な見方を確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8) 具体例で統計学を学ぶ「度数分布・分割・図」 予習；度数分布・分割・図の部分について概観する（30分）。復習；度数分布・分割・図の部分を確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9) 具体例で統計学を学ぶ「平均値・標準偏差・偏差値」 予習；平均値・標準偏差・偏差値について概観する（30分）。復習；平均値・標準偏差・偏差値について再度、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10) 具体例で統計学を学ぶ「範囲・その他の数値」 予習；範囲・その他の数値について概観する（30分）。復習；範囲・その他の数値について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11) 正規分布 予習；正規分布について概観する（30分）。復習；正規分布について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12) 推定と検定 予習；推定と検定について概観する（30分）。復習；推定と検定について、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13) 詳しい検定 予習；詳しい検定について調べておく（30分）。復習；詳しい検定について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14) 分散分析・多変量解析 予習；分散分析・多変量解析について概観する（30分）。復習；分散分析・多変量解析についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15) まとめ	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習	
授業計画に沿った、資料の該当単元を熟読してきてください。講義資料を復習してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。。	心理統計学 情報処理演習、

課題に対するフィードバック

毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。

備考

科目名	脳科学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	左利 厚生		関連する資格	

授業概要

本授業は対面で実施します。ヒトの思考・記憶・感情などを含むすべての精神活動は脳の働きによることを理解するために、脳科学に関連した中枢神経系の構造と機能を学びます。そして、ヒトの精神活動がもたらす行動にまで考察を展開しその過程を習得します。近年、生きたヒトの頭の中の解剖学的変化・機能的変化を画像化することが可能となり、これらの科学技術の進歩は脳科学の飛躍的發展をもたらし、脳科学は21世紀の自然科学の主流になるとさえ言われています。しかし、一方では、これらの科学技術の発展は倫理的問題や社会的問題をもたらし、さらに、高齢化に伴い、アルツハイマー病やパーキンソン病の増加が医療経済問題として、地球規模で検討されるに至っています。これらの問題も脳科学を中心に学際的考察を行います。

到達目標

A1311

1. ヒトのとり態度・行動はすべて脳が司る精神活動の結果であることを、脳の解剖学的・機能的知識から説明できることを目標とする。

成績評価方法

単元ごとに課題をつけ、その解答から理解度、学習態度を評価し、期末試験の結果と合わせて評価する

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○		○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 近年脳科学が飛躍的発展を遂げた要因とその過程について脳科学的考察を行う。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習]授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
2) ヒトがある行動をとったときに脳がどの様に働くかを考察する。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
3) ヒトの脳の構造と機能（1）大脳皮質。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
4) ヒトの脳の構造と機能（2）シナプス。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
5) ヒトの脳の構造と機能（3）神経伝達物質(1)。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
6) ヒトの脳の構造と機能（4）神経伝達物質(2)。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
7) ヒトの脳の構造と機能（5）大脳辺縁系。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
8) ヒトの脳の構造と機能（6）大脳基底核。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
9) ヒトの脳の構造と機能（7）視床と視床下部。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
10) ヒトの脳の構造と機能（8）脳幹。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
11) ヒトの脳の構造と機能（9）小脳。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
12) ヒトの脳の構造と機能（10）感覚器。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
13) 脳の生理学（脳循環と代謝）[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
14) 画像診断と脳科学。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
15) 脳科学の歴史。[予習]google classroomに掲載された授業内容を熟読・理解する（40分）。[復習] 授業中の医学用語を理解し、不明な点は次回の授業で質問する（20分）。	授業内課題
授業外学習	
授業内容は全てGoogle classroomに掲載されるので授業前に熟読し、不明な点をノートに記載し、次回の授業で質問する。授業中に紹介した研究論文にも興味を持ちwebで検索し、内容を確認する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考教科書は授業の初日に数冊紹介する。 授業内容に関連した研究論文を随時紹介する	

課題に対するフィードバック

授業に関する意見はgoogle classroomに投稿・掲載できる。その内容については次回の授業で解説する。

備考

科目名	心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	木元 卓也	関連する資格		

授業概要

看護・保健領域の専門職として働くにあたり、臨床現場で役立つであろう知識とエッセンスを中心に、心理学の基礎的知識について学ぶ。

到達目標

B1105

- 看護・保健領域で、心理学の知見を活かし、専門的関わりの質を高める工夫をすることができる。
- 心理学的知見を活かした援助を行う方法を理解できる。

成績評価方法

小レポート、受講態度で評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			30
宿題、授業外レポート		○		○			30
授業態度・授業参加度			○		○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学とは何か？～こころの仕組みを知ろう～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
2) 子ども虐待を通して考えるこころの発達 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
3) 学校と集団心理 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
4) 恋愛と結婚～人はパートナーに何を求める？～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
5) デートDVとドメスティックバイオレンス 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
6) 家族の心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
7) メンタルヘルスとリーダーシップ～働く人のこころの健康～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
8) 人はなぜ不安やパニックになるのか？～こころの疾患と精神障がい～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
9) 孤独と文化 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
10) 多様性と性についての心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
11) なぜ人間には感情があるのか？ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
12) 同調圧力と自己判断 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
13) あおり運転から考える交通心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
14) 犯罪加害者への支援と心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
15) まとめ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	小レポート
授業外学習	
毎回、配布する資料を読み返し復習してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
*テキスト 適宜プリントを配布する。	コミュニケーション論、生涯発達心理学

課題に対するフィードバック

質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。

備考

科目名	文学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藤原 まみ	関連する資格		

授業概要

日本近代文学の中からいくつか作品を取り上げ、その魅力を味わうとともに、文学作品としての価値について考える。また、文学作品を通じて、人の人生や生き方、考え方などを学び、豊かな感性を磨く。

到達目標

A1317

1. 「文学作品を読む」ということを理解する。
2. 課題作品について、自身の意見を持ち、それを表現することができる。
3. 他者の意見に耳を傾けることができる。
4. 他者の意見を盗用しない。
5. 世界の多様性について関心を持つ。
6. 授業の前に、必ず、課題作品を読む。
7. 他国の文学に関心を持つことによって、日本語文学への理解を深めることができる。

成績評価方法

- 最終課題論文 (40%)
- 課題提出 (30%)
- 授業における発言 (30%)

指定された期限までに提出しなかった課題は評価の対象外。
指定された課題図書を必ず読んで出席すること。
読んでいない場合は欠席相当と判断する。
指名された者は、先に他者が言ったことを繰り返さず、自身の言葉で自身の意見を述べること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 必ず、教科書を持参して、出席してください。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	
2) レポート作成について。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
3) 文学作品を読むことについて（スターン）。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
4) 「細君」坪内逍遙。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
5) 「くされたまご」嵯峨の屋おむろ。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
6) 「この子」山田美妙。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
7) 「舞姫」森?外。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
8) 「拈華微笑」尾崎紅葉。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
9) 「対髑髏」幸田露伴。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
10) 「こわれ指輪」清水紫琴。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
11) 「かくれんぼ」斎藤緑雨。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
12) 「わかれ道」樋口一葉。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
13) 「龍潭譚」泉鏡花。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
14) 「武蔵野」国木田独歩。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
15) 「雨」広津柳浪。	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
授業外学習	
<p>授業の前に、必ず、次回の課題図書を読んでおいてください。授業では、まず、10分程度で250字程度にまとめた自分の意見を提出してもらい、それを元にグループディスカッションをおこないます。意見をまとめられない場合、授業に積極的に参加することができないので、忘れずに課題図書を読んで準備してください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『日本近代短篇小説選 明治篇1』 紅野 敏郎 / 編, (ISBN 4003119118)	

課題に対するフィードバック

適宜、学生の求めに応じることとする。

備考

科目名	哲学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	村田 貴信	関連する資格		

授業概要

(本授業は対面実施する。)

歴史や自然、社会や世界、そしてなによりもまず自分自身について、立ち止まって見つめなおしてみる機縁になるように、以下の二点を支軸にして講義を展開する。

- (1) 自己と世界とにともに関わる人知の精髓を哲学史の展開のなかに探る。
- (2) ものごとを広く(多面的に)深く(根源的に)考えることの意味と意義とを理解する。

到達目標

A1318

- (1) 哲学の根本問題について考えてみる。
- (2) 哲学の対象と方法とに関する基礎的な理解を得る。

成績評価方法

期末定期試験で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入： 講義内容ならびに講義の進め方の一般的説明 【予習】テキスト（pp. 16-21）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
2) 序論(1)： 哲学とは何か 【予習】テキスト（pp. 22-26）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
3) 序論(2)： 哲学と哲学史 【予習】テキスト（pp. 26-32）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
4) 神話と論理(1)： 始原への問い 【予習】テキスト（pp. 32-36）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
5) 神話と論理(2)： 全体への問い 【予習】テキスト（pp. 36-40）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
6) 知識と知恵(1)： 無知の知 【予習】テキスト（pp. 40-45）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
7) 知識と知恵(2)： 真の知 【予習】テキスト（pp. 45-52）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
8) 科学と哲学(1)： 知の構造とその諸相(1) 【予習】テキスト（pp. 52-58）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
9) 科学と哲学(2)： 知の構造とその諸相(2) 【予習】テキスト（pp. 58-67）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
10) 自然と人間(1)： 自然概念の変遷 【予習】テキスト（pp. 67-70）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
11) 自然と人間(2)： 生命と非生命 【予習】テキスト（pp. 71-76）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
12) 存在と意識(1)： 存在論と認識論 【予習】テキスト（pp. 77-82）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
13) 存在と意識(2)： 言語・思考・世界 【予習】テキスト（pp. 83-86）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
14) 超越と構想(1)： 超越と内在 【予習】テキスト（pp. 87-97）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
15) 超越と構想(2)： 問いの可能性 / 講義全体のまとめ 【予習】テキスト（pp. 97-106）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
授業外学習	
週単位ごとの授業計画に示した項目・概要に沿ってテキストを精読（予習）・再読（復習）する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト： プラトン『ソクラテスの弁明』（光文社古典新訳文庫）、光文社、2012年	人権論、いのちの科学、人間看護学、人間関係論

課題に対するフィードバック

テキスト読解深度を音読・質疑応答で確認する。

備考

期末定期試験時に辞書を使用したい場合は紙の辞書を用意すること。

科目名	倫理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	田中 智輝	関連する資格		

授業概要

倫理学は、道徳的行為や性格の「正しさ」や「善さ」の根拠を、できるだけ合理的かつ哲学的に問う学問である。本授業では著名な哲学者・宗教家の思想を取り上げ、倫理学の基本的な考え方を紹介すると同時に、現代の応用倫理学も考察する。

到達目標

A1319

1. 倫理学理論を用いて推論することが可能になる
2. 現代的な課題に興味関心を示すことが可能になる
3. 倫理的な方法論を用いて課題を分析することが可能になる

成績評価方法

- ・知識：80%
- ・態度：10%
- ・技能：10%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							80
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 本講義の概要：倫理とはなにか？ 【予習】倫理とは何かについて疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
2) 倫理学とはどのような学問か？ 【予習】倫理学の概要について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
3) 義務論と功利主義 【予習】義務論と功利主義について疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
4) 義務論の考え方を学習する。 【予習】義務論について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
5) 功利主義の考え方を学習する。 【予習】功利主義について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
6) 義務論と功利主義の考え方を事例を通じて検討する。 【予習】事前に配布する資料をもとに、論点を整理する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
7) 正義論の考え方を学習する 【予習】正義論について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
8) ケアの倫理学の考え方を学習する 【予習】ケアの倫理学について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
9) 現代社会における倫理的課題：誕生をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
10) 現代社会における倫理的課題：誕生をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
11) 現代社会における倫理的課題：死をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
12) 現代社会における倫理的課題：科学技術による生への介入 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
13) 現代社会における倫理的課題：未来倫理学 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
14) 現代社会における倫理的課題：AI技術と倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
15) 総括：本講義のまとめ 【予習】倫理学を学ぶことの今日的意義について考え、要点を整理する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
授業外学習	
講義内で示した課題について事前に準備する。講義の内容を踏まえたレポート等の作成を行なう。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
講義内で適宜紹介する。	

課題に対するフィードバック

課題、レポートについてのフィードバックは基本的に講義内で行う。

備考

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ヒトの心・サル的心 文化人類学と自然人類学 予習「ヒトと他の生物の違いは何でしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
2) フィールドワークの泣き笑い 文化人類学の方法 予習「身に覚えのないことで地元の人に非難されたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
3) 調査されるという迷惑 宮本常一先生と調査地被害 予習「周防大島出身の宮本常一先生を知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
4) すべてのものにカミが宿っている アニミズムの世界 予習「人間以外の生き物に声をかけることがありますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
5) 日本が単一民族国家ではない証拠 アイヌ民族との出会い 予習「1990年の北海道庁のアンケートの結果アイヌ民族は何人？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
6) 「自分と違う人たちは苦手？ DNAの旅とフリーハグ 予習「人間とチンパンジーのDNAは何パーセントくらい共通？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
7) はじめての海外旅行 コンゴ民主共和国の森の村で 予習「アフリカで村長から『養子になれ』と言われたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
8) 生物の多様性と文化の多様性を生かす コンゴの民衆の智恵 予習「塩と砂糖だけを買う森の村で作れる料理の数は何種類？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
9) お金が通用しない暮らし 贈り物・物々交換・地域通貨・仮想通貨 予習「突然お札が通用しなくなったら暮らしはどうなる？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
10) 女性として生きるのがつらい国 コンゴ民主での性暴力など 予習「スマホに不可欠のタンタル鉱石とコンゴ内戦のつながりは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
11) 今を生きる指針としての神話 コンゴの森の人びとの語りから 予習「子どものころから聞いた神話の中で印象に残るものは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
12) 民衆の記憶力 昔むかしの漂流民の伝承を与那国島で聞く 予習「言い伝えは、何年前くらいまでさかのぼれるものでしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
13) 生ハムとワインの国 おいしい食べ物が異文化攻撃の武器にもなる 予習「サビエルと山口とのかかわりを知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
14) 武器をもって闘ったお坊さんたち 幕末長州の真宗僧の活躍 予習「幕府軍が長州を包囲した四境戦争はいつ起こったか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
15) みんなちがってみんな「？」 たくさんの思いこみからの解放 予習「あなたなら上記の『？』にどんな言葉をいれますか？」 復習「最終レポートのテーマを考えよう」	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
授業外学習	
復習は、課題2問程度に回答することです（60分）。予習は、次回講義の用語をgooglescholarなどで検索し、関連のある文章に目を通してみましょう（30分）。最終回の予習は、「最終レポートのテーマを考えよう」です。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト、宮本常一・安溪遊地、2024『調査されるという迷惑 フィールドに出る前に読んでおく本（改訂増補版）』（みずのわ出版） 担当教員のブログ https://ankei.jp	

課題に対するフィードバック

毎回の質問には、次の回までにできるだけ答えるようにしていきます。また、すぐれた意見については、ご本人の同意の上でクラス全体でシェアします。

備考

科目名	日本語表現法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	有元 光彦	関連する資格		

授業概要

本授業は、対面で実施する。

近年インターネットや電子メールなどメディアの発達によってコミュニケーションの場面が多様化し、「ことば」はますます重要になってきている。そこで、本授業では、現代日本語の様々な姿やそこに潜む表現法を、実践を通して学んでいくことを目的とする。まず、インプットとして、現代日本語に関する基礎的な知識を学ぶ。そのうえで、アウトプットとして、「書く」こと、すなわち文章表現を扱う。文章には様々な種類がある。可能な限り、多種多様な文章を扱っていく。

到達目標

A1401

1. 句読点などの、基本的な表記法を習得する。
2. 慣用表現など、基本的な定型表現を習得する。
3. 待遇表現（敬語）など、文体に関わる表現法を習得する。
4. 様々な現代日本語表現における、文章の書き方の基本を習得する。

成績評価方法

授業態度・参加度の評価，授業時間内・外の小レポートの成績の総和による。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入：シラバス，日本語表現法とは？ 【復習】日本語表現法について確認する（30分）	
2) 知識(1)：表記，語 【予習】表記や語の種類について考えておく（30分） 【復習】豊潤な表記法などを振り返る（60分）	
3) 知識(2)：文，定型表現 【予習】慣用表現などについて考えておく（30分） 【復習】文の構造などを振り返る（60分）	
4) 知識(3)：文体，敬語 【予習】文体などについて考えておく（30分） 【復習】文章・文体について振り返る（60分）	
5) 知識(4)：文体，敬語 【予習】文体などについて考えておく（30分） 【復習】文章・文体について振り返る（60分）	
6) 演習(1)：要約，メモ 【予習】要約について見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
7) 演習(2)：メール，手紙 【予習】自分のメールを見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
8) 演習(3)：広告（ポスター） 【予習】ポスターを見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
9) 演習(4)：メニュー 【予習】メニューを見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
10) 演習(5)：マニュアル 【予習】マニュアルを見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
11) 演習(6)：“やさしい日本語” 【予習】”やさしい日本語”について見ておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
12) 演習(7)：自己紹介・アピール 【予習】自己紹介について考えておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
13) 演習(8)：アンケート 【予習】アンケートについて確認しておく（30分） 【復習】小レポートの作成（60分）	小レポート
14) 演習(9)：レポート・論文 【予習】レポートや論文について考えておく（30分） 【復習】レポート・論文の書き方について振り返る（60分）	
15) 演習(10)：レポート・論文 / 総括 【予習】レポートや論文について考えておく（30分） 【復習】レポート・論文の書き方について振り返る（60分）	リフレクションシート
授業外学習	
授業時に提示した課題に対し，小レポートを作成する。小レポートは，次の授業の開始時に提出する。詳細は授業の際に説明する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：なし。代わりに，プリントを配付する。 参考書等：授業の際に適宜挙げる。	日本語表現法演習 ・ ・

課題に対するフィードバック

小レポートは、チェック及び評価をし、次回の授業時に返却する。誤り等の指摘がある場合には、修正をしてほしい。

備考

科目名	日本語表現法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	有元 光彦	関連する資格		

授業概要

本授業は、対面で実施する。

本授業では、論理的な文章を書くための基礎的な能力を養成することを目的とする。そのために、毎回様々な文章が提示され、それに関する課題をこなしていく。内容については、表記、語順、表現の選択、事実と意見の区別など、現代日本語表現法の基本となるテーマを扱う。毎回の作業の積み重ねによって、論理的な文章の表現法を体得することができる。

到達目標

A1402

1. 様々な文章を観察・分析することによって、文章表現法を論理的に考えることができる。
2. 表記法や文法的な問題を、文章表現の観点から意識できる。
3. 様々な表現の中から、文脈に即した適切な表現法を選択できる。
4. 事実と意見の違いを明瞭に理解し、的確な表現をすることができる。

成績評価方法

授業態度・参加度、授業内の作業シートにより総合的に評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入：シラバスの説明，文章表現とは 【復習】授業全体の流れ・目的を明瞭に理解しておく（30分）	
2) 読点の打ち方 【予習】句読点について確認しておく（30分） 【復習】読点の打ち方について振り返る（60分）	作業シート
3) 語順の文法 【予習】日本語の語順について確認しておく（30分） 【復習】日本語の語順と文章表現について振り返る（60分）	作業シート
4) かなと漢字の書き分け 【予習】かな・漢字について確認しておく（30分） 【復習】かな・漢字といった表記法について振り返る（60分）	作業シート
5) 主語の省略と表出 【予習】主語について確認しておく（30分） 【復習】主語の出現条件について振り返る（60分）	作業シート
6) 表現選択の可能性 【予習】類義語・同意語について確認しておく（30分） 【復習】表現選択について振り返る（60分）	作業シート
7) 話しことばと書きことば(1) 【予習】話しことば・書きことばについて確認しておく（30分） 【復習】話しことば・書きことばの違いを振り返る（60分）	作業シート
8) 話しことばと書きことば(2) 【予習】話しことば・書きことばについて確認しておく（30分） 【復習】話しことば・書きことばの違いを振り返る（60分）	作業シート
9) 弱い判断の功罪 【予習】文末表現について確認しておく（30分） 【復習】文末表現について振り返る（60分）	作業シート
10) 事実と意見の書き分け(1) 【予習】事実・意見ということばの意味を確認しておく（30分） 【復習】事実と意見の区別について振り返る（60分）	作業シート
11) 事実と意見の書き分け(2) 【予習】事実・意見ということばの意味を確認しておく（30分） 【復習】事実と意見の区別について振り返る（60分）	作業シート
12) 事実と意見の書き分け(3) 【予習】事実・意見ということばの意味を確認しておく（30分） 【復習】事実と意見の区別について振り返る（60分）	作業シート
13) 「のだ」のさじ加減(1) 【予習】主張について確認しておく（30分） 【復習】主張を表す「のだ」について振り返る（60分）	作業シート
14) 「のだ」のさじ加減(2) 【予習】主張について確認しておく（30分） 【復習】主張を表す「のだ」について振り返る（60分）	作業シート
15) 総括 【予習】今期の授業内容を整理しておく（30分） 【復習】授業内容を総合的に振り返る（60分）	リフレクションシート
授業外学習	
<p>予習においては，授業で扱う予定のトピックにおいて，何が問題となりそうか考えておいてほしい。</p> <p>復習においては，授業中に行った課題及び説明について振り返るとともに，それらのことが，文章表現をする際にどのように役に立つかを確認してほしい。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト：なし ・参考書：授業中に適宜指示する。 	日本語表現法演習 . . .

課題に対するフィードバック

作業シートで提示された質問や感想などに関して、次の授業で取り上げ、受講者全員に共有することでフィードバックを行う。

備考

科目名	キャリアデザイン			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	角光 通子、高山 智行		関連する資格	

授業概要

大学に入学をして、あなたは何をしたいのか？ 4年間をどの様に過ごすのか？ 4年後に卒業をし、社会に出る、又は大学院進学に向けての進路選択活動をするため、これからの自分の大学生活をデザインすることを目的とする。グループワーク・グループ演習などを通して、他社とのコミュニケーションをはかり、同時に、自分の想い、他者への想いを深めていく。

到達目標

ナンバリング(A1801)

- 社会人として必要な能力を向上させる
- 社会で働くことの意義を考えることができる
- 広い範囲から職業選択、進路選択ができる

成績評価方法

授業中のグループワークや演習課題への積極的な参加、小レポートの作成、授業外レポートなどによる総合評価

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート			○	○	○		20
宿題、授業外レポート							60
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション ガイダンス （担当：高山） 【予習】 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート
2) コミュニケーションスキル （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
3) コミュニケーションスキル （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
4) PROGテスト （担当：角光） （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
5) 大学生活の過ごし方 （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート
6) ワールドカフェ ～クラスのみなと知り合い、自分の意志を伝える～（担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
7) 未来の自分を考える ～将来の自分に視点を向け、考える～ （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
8) あなたの未来は？ ～お金の意味を考える～ （担当：外部講師） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
9) Web情報・書籍の活用 Webや書籍の活用方法について考える （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
10) PROGの解説 （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
11) PROGの解説 （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
12) 社会人基礎力とは？ ～社会人基礎力の概要～ （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
13) キャリアとは ～キャリアについて考える～（担当：高山） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
14) キャリア理論 ～キャリア理論の概要～ （担当：高山） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
15) 総括 （担当：高山） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート
授業外学習		
毎授業後、作成するレポートを通して、自身の課題を明確にし、次回の授業への関わりに活かす。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適時資料を配布する。 図書館やキャリア支援センターにある資料・書籍等を参考にし、自分に合った教材を見つける。		キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリアデザイン、インターンシップ、インターンシップ、インターンシップ

課題に対するフィードバック

小レポートは、翌週コメントを付けて返却する。

備考

科目名	心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	木元 卓也	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義では、心理学の歴史・成り立ちと、人の心の基本的な仕組み及び働きについて学ぶ。

【実務経験】

担当教員は公認心理師及び臨床心理士の資格を有し、福祉・医療・学校臨床の経験をもつ。大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動にも携わっており、それらの活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行う。

到達目標

ナンバリング (A1201ab)

心理学とはどのような学問であるかを説明できる。
授業で取り上げた専門用語の定義を述べることができる。
授業で取り上げた心理学的現象について、心理学の専門用語や理論を用いて説明することができる。

成績評価方法

受講態度と小レポートで評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○		○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学の歴史 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
2) 脳神経系の仕組みと脳の発達 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
3) 人の心の基本的な仕組みとその働き 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
4) 感覚と知覚 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
5) 意識・注意 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
6) 学習・記憶 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
7) 認知と言語 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
8) 感情・動機づけ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
9) 個性と人格 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
10) 発達 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
11) 高次脳機能の障害と必要な支援 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
12) 社会及び集団に関する心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
13) 心の健康と障がい 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
14) 心理臨床とこころ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
15) 災害支援における人のこころ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	小レポート
授業外学習	
毎回、配布する資料を読み返し復習すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
*テキスト 適宜プリントを配布する。	心理学概論

課題に対するフィードバック

質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。

備考

科目名	心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	小野 洋平	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

心理学は「基礎心理学」と「応用心理学」の2領域に大別される。心理学概論 で学修した基礎心理学の領域では、こころのメカニズムの法則や理論の探求が行われている。それらを実際の問題解決に役立てたり、広く社会への応用を図るのが応用心理学である。後期の心理学概論 では、教育、臨床、医療、福祉、司法などの領域で、基礎心理学がどのように応用されているかを理解することを目的とする。
本授業は対面授業を基本とする。

到達目標

A1202ab
授業で取り上げた概念と専門用語の定義を述べることができる。
授業で紹介した理論やモデルを説明できる。
基礎心理学が教育、産業、臨床、医療、福祉、司法の各領域でどのように応用され、役立っているのかについて説明できる。
基礎心理学の知識や理論を用いて、自分自身の問題解決を図ることができる。

成績評価方法

期末試験 50%、ミニッツペーパー 20%、小テスト20%、講義への参加度10%で評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート			○				20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション:心理学をどのように応用したらよいか？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
2) 教育心理学 :なぜ大学で学ぶのか？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
3) 教育心理学 :効果的な学習方法とは？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
4) 動物心理学・比較行動学:動物に心はあるのか？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
5) 臨床心理学:悩んだときには誰に相談する？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
6) スポーツ心理学:アスリートのメンタルコントロールとは？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
7) 司法心理学:目撃証言は信頼できるか？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
8) 捜査心理学 :犯人像, 潜伏場所を推定するには？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
9) 捜査心理学 :ポリグラフ検査は何を調べる検査か？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
10) 司法犯罪心理学:犯罪を予防するための環境設計とは？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
11) 恋愛心理学:蛙化現象はなぜ生じる？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
12) 被服・化粧心理学:魅力を高めるには？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
13) 文化心理学:なぜ他国の人々の顔を区別しにくいのか？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
14) 映像・メディア心理学:日本のマンガが人気なのはなぜか？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
15) まとめ:今後どのような応用領域が求められるか？ 【予習】専門用語や理論を調べる。 【復習】小テストで理論や定義の理解を深める。(各60分以上)	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
授業外学習	
<p>各単元に関連する専門用語や理論を復習しておいてください。また、単元に関連する日常の疑問を見つけましょう。授業概要は発問形式になっています。受講前にご自身の答えとその理由をまとめておくと講義内容の理解度が高まると思います。</p> <p>受講後は、各単元の小テストから自身の理解度を確認し、復習すべきポイントを抑えてください。</p> <p>授業外でも遠慮なく質問してください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは使用しません。各単元でプリントを配布します。また、講義で関連書籍を随時紹介します。</p>	<p>心理学概論 心理学の各専門科目</p>

課題に対するフィードバック

- ・ミニツッペーパー（授業内ミニレポート）への解答は、次回の授業の始めにアナウンスします。
- ・小テストについては、逐次回答と解説をフィードバックします。
- ・期末試験については、全体の結果等をフィードバックします。

備考

・講義内で電子機器を用いたアクティブラーニングを行うことがあります。PCやタブレット、スマートフォンなど、インターネットにアクセスできる機器を持参の上受講してください。

科目名	知覚・認知心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	小野 洋平	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

私たちは、多くの事物や出来事に取り囲まれて生活している。その中において適切に振る舞い対処していくためには、周りの状況や事物や出来事、あるいは自分自身の身体の状態さえも適切に捉えることが必要である。それを支えているのが、感覚、知覚、（狭義の）認知と呼ばれる心の働きである。感覚・知覚・認知は、通常、私たちの周りで発生した刺激（情報）がヒトの感覚器官に受容されることから始まるが、私たちが経験するのは周りの世界の写しではなく、むしろ経験や知識の関わりにより解釈し構成された世界である。このような感覚、知覚、認知の働きをまとめて心の認知機能という。この授業では、まず初めに、この認知機能の枠組みと特徴、そしてそれらを捉える方法論について解説する。続いて、それら認知機能が外的情報（刺激）と内的情報（記憶・知識）との相互作用の結果としてもたらされるものとして、それを担う感覚・知覚・認知の過程について解説する。

本授業は、原則、対面で実施する。

到達目標

A1203ab

認知機能の枠組みとその諸特性を理解し、概説できる
 多様な感覚・知覚・認知の現象を知り、それぞれを概説できる
 感覚・知覚・認知に関する情報処理モデルの考え方を理解し、概説できる

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、定期試験により総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 感覚の種類と構造 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
2) 感覚・知覚の基本的特性 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
3) 視覚 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
4) 聴覚 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
5) 化学的感覚・体性感覚 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
6) 対象認知 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
7) 感覚・知覚の障害 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
8) 認知の基本的特性 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
9) 注意のメカニズム 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
10) 記憶のメカニズム(1)ワーキングメモリ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
11) 記憶のメカニズム(2)長期記憶 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
12) 記憶のメカニズム(3)日常的記憶 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
13) 知識の表象と構造 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
14) 問題解決と推論 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
15) 認知・思考の障害 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	PBL・小テスト ミニッツペーパー ディスカッション
授業外学習	
予習と復習を行ってください。 具体的内容については授業時に指示します。 授業外でも遠慮なく質問してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用しません。各単元でプリントを配布します。 参考図書： 石口彰（編著）「知覚・認知心理学」放送大学、2019 道又爾他（著）「認知心理学 知のアーキテクチャを探る」有斐閣、2003	脳科学、学習・言語心理学、神経・生理心理学、色彩心理学、色彩心理学演習

課題に対するフィードバック

- ・ミニツッペーパー（授業内ミニレポート）への解答は、次回の授業の始めにアナウンスします。
- ・小テストについては、逐次回答と解説をフィードバックします。
- ・期末試験については、全体の結果等をフィードバックします。

備考

・講義内で電子機器を用いたアクティブラーニングを行うことがあります。PCやタブレット、スマートフォンなど、インターネットにアクセスできる機器を持参の上受講してください。

科目名	発達心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	三島 瑞穂、大石 英史	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

人間の発達には、生涯にわたり、質的・量的に変化していく「連続した過程」として捉えられる。また、各発達の段階には、達成すべき課題があり、それらを遂行していく過程とも捉えられる。本講では、こうした視点を踏まえ、出生から死に至るまで人生で生じる心の変化を概観し、発達障害とその支援についても理解を深める。なお、人間の発達を実感できるようにビデオやDVDなどの視聴覚教材を適宜活用する。

授業は対面授業を基本とする。

担当する教員の内、大石は臨床心理士、公認心理師として、スクールカウンセラー、フリースクール支援員などの教育臨床領域、および産業領域のカウンセラーなどを行なっている。

到達目標

ナンバリング(A2211ab)

人の発達をライフサイクルの視点からとらえ、変化のプロセスを説明できる。

各発達段階における特徴と課題を説明できる。

認知機能の発達及び感情・社会性の発達について説明できる。

自己と他者の関係の在り方と心理的発達について説明できる。

高齢者の心理について説明できる。

誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達について説明できる。

発達障害等非定型発達に関する基礎的な知識及び考え方について説明できる。

発達に関する知識を用いて自己理解を深めることができる。

成績評価方法

各回の授業レポート30%、授業内に取り組む課題40%、授業への参加状況30%

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		40
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		30
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) (三島瑞穂/第1～3回) 発達心理学の概要 【予習】自分を振り返り、発達とは何か考えておく 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(各々60分以上)	授業内ワーク、課題
2) 子どもの発達に関する理論 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる(60分以上) 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(60分以上)	小課題
3) 胎児期から乳児期の認知的発達、初期学習能力 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる(60分以上) 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(60分以上)	ドキュメンタリーの視聴、課題
4) (大石英史/第4～10回) 乳児期: 乳児のコミュニケーション能力、マザリングとアタッチメント、情動と関心の共有、探索行動【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
5) 幼児前期: 模倣としぐさの共有、しつけと意志の発達、言葉のはじまり、発達の臨界期【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
6) 幼児後期: 認知機能の発達と感情・社会性の発達、自己と他者の関係の在り方と心理的発達、現代日本の子育て状況【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
7) 学童期: 小学校という場、学びと遊びの世界、書き言葉の大切さ、論理の発達、9歳の壁【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
8) 思春期: 仲間関係と自己形成、心の問題の顕在化、性と恋愛、不登校現象、仲間関係といじめ【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読により知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
9) 青年期: アイデンティティの形成、親子関係の変化と自立、現代大学生の青年期モラトリアム【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読により知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
10) 成人前期: 職業選択とキャリア形成、青年期の延長、ライフコースの選択、社会的役割【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読により知識を定着させ課題を発見する(各々90分以上)	授業内ミニレポート
11) (三島瑞穂/第11～15回) 成人後期: 中年期の危機、心理社会的・認知的変化【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(各々60分以上)	小課題
12) 老年期: 知的発達、自伝的記憶と回想、老化のとらえ方、サクセスフルエイジング【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる(60分以上) 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(60分以上)	ドキュメンタリーの視聴、小課題
13) 人の死の心理学的特性 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる(60分以上) 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(60分以上)	授業内ワーク、小課題
14) 非定型発達とその心理的特性 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる(60分以上) 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(60分以上)	授業内ワーク、小課題
15) 子どもの権利: 発達を促進する権利保護 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる(60分以上) 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する(60分以上)	授業内ワーク
授業外学習	
<p>授業で配布されるプリントを用いたり、小課題(宿題)を行うことでその回の授業内容を復習すること。 次回の授業内容に示された専門用語について、教科書や心理学事典などで事前に調べておくこと。 授業の内容を元に、自分自身や周りの人を発達の観点で捉え、理解を深めること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
相馬 花恵 (編集, 著), 板口 典弘 (編集, 著)「ステップアップ心理学シリーズ 発達心理学 こころの展開とその支援 (KS心理学専門書)」講談社 教科書の順序に沿った授業の進め方ではなく、教科書を持っていることを前提として進める。	心理学概論 ・ 、生涯発達心理学 (乳幼児期)、生涯発達心理学 (児童期・青年期)、生涯発達心理学 (成人期・老年期)

課題に対するフィードバック

- ・ミニレポートについて、個別もしくは授業の始めにフィードバックを行う（三島担当回）。
- ・宿題、授業外レポートについては次回の授業で解答例を提示する（大石担当回）。
- ・授業に関する質問、資料について補足説明が必要な個所については、次回の授業で口頭で説明する（大石担当回）。

備考

科目名	心理学研究法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	高山 智行	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

われわれは、ヒトの心の状態あるいはそこにいたる心の仕組みや働きを直接知ることにはできない。心理学研究は、このような心を科学的研究の対象として実証的に捉えるための工夫や試みの積み重ねであり、心理学研究法の理解は、心を科学的に解明していく上での必須の要件といえる。他方、ヒトの心を科学的に解明するためには、様々な場面における人々の振る舞いや応答など取得可能な多様な手がかり（情報あるいはデータ）を利用する必要がある。そのため、個人への対応や得られたデータの取り扱いには最大限の配慮が必要となる。この授業では、心を科学的実証的に研究するための基本的な考え方や方法、並びに実証データの取得や取り扱いに関する倫理規定について、事例を交えながら講義する。

到達目標

ナンバリング(A2201ab)

科学的研究の枠組みを理解し、科学的心理学の立場を簡潔に要約することができる。

心理学研究における量的アプローチと質的アプローチ並びにそれぞれのアプローチで用いられる研究方法について概要を理解し、研究対象に合わせて適切なアプローチと方法を選択できる。

心理学研究において遵守すべき倫理規定を理解し、自らの学習並びに研究活動において実践することができる。

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、中間テスト、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、科学的研究の枠組みと科学的心理学 【予習】「心理学」の学問的立場について概論書を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
2) 心理学研究における倫理的配慮：倫理的ガイドライン 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
3) 実験法（1）実験の論理，独立変数・従属変数・剰余変数 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
4) 実験法（2）従属変数の測定，剰余変数の統制 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
5) 実験法（3）実験計画の基礎，要因計画，さまざまな実験法 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
6) 調査法（1）質問紙調査の基礎 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
7) 調査法（2）質問紙調査の実際 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
8) 中間テストと解説 【予習】これまで配付された資料すべてを読んでおく（180分） 【復習】中間テストで正しくできなかった回答について，再度資料で確認する	
9) 検査法 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
10) 面接法 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
11) 観察法 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
12) 質的アプローチ（1）フィールドワーク、参与観察、インタビュー 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
13) 質的アプローチ（2）グラウンデッド・セオリー・アプローチ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
14) 研究の実施と結果の解釈における留意事項，まとめ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
15) まとめ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
授業外学習	
初回を除く授業への予習と、最終回を除く授業への復習。 具体的内容については授業時に指示する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：講義資料を配付する 参考図書： 高野陽太郎・岡隆（編著）「心理学研究法 心を見つめる科学のまなざし」補訂版 有斐閣、2017 村井潤一郎・藤川麗（編著）「心理学研究法」（公認心理師の基礎と実践 4） 遠見書房、2018	心理学研究法演習、心理学統計法、心理学統計法演習、心理検査法演習、心理学実験、心理学実験、色彩心理学演習、心理的アセスメント、心理検査法演習

課題に対するフィードバック

復習課題への解答は、翌週の授業で配布あるいは解説する。

備考